

1. 事業内容（実施計画）

（1）研究主題

- 主たる研究課題：D. 効率的な外部アンケート等の実施に係る研究
- 補助的な研究課題：E. 学校関係者評価等の充実・改善に係る研究
(E-1 学校関係者評価の手法に係る研究)

（2）取組の概要

- 主たる研究課題
 - ・アンケート（保護者・児童生徒・地域）の作成の効率化を高める研究
 - ・アンケート（保護者・児童生徒・地域）の信頼度を高める研究
 - ・情報機器を活用した学校評価作業の効率化・共有化に関する研究
 - ・学校評価アンケート（保護者・児童生徒・地域）の分析力・解析力を高める研究
 - ・アンケート結果や学校評価の公表に係る研究
- 補助的な研究課題
 - ・特色ある学校づくりに向けた学校関係者評価委員の選出に関する研究
(学校・市教委・行政・他団体と連携した学校関係者評価委員の選出と支援体制づくり)
 - ・学校関係者評価委員の研修による評価力の向上
 - ・学校が元気になる学校関係者評価の推進プロセスの構築
(組織づくり、評価の方法、結果の公表)

（3）取組の内容

- ・実践校・・・（市内の全小・中学校12校）

小学校（8校）見附小、見附第二小、名木野小、田井小、葛巻小、新潟小、 上北谷小、今町小 中学校（4校）見附中、南中、今町中、西中
--

①【見附市教育委員会（市学校評価推進委員会）の取組内容及び取組方法】

昨年度設置した市学校評価推進委員会（以下市推進委員会：教職員で構成）並びに全小・中学校に設置した学校評価委員会を中心に、効率的な外部アンケート等の実施に係る研究を推進する。これまでの取組成果と課題を明確にするとともに、より質の高い学校評価の取組を推進するために、以下の内容について重点を置く。

○主たる研究課題

見附市内小・中学校が行うアンケートは、「児童生徒用アンケート」「保護者・地域住民用アンケート」「教職員用アンケート」がある。その結果については、各学校が、それぞれのアンケートの結果分析を行ったり、複数のアンケートにおける比較分析を行うことにより、改善の手だて（アクション）を産み出している。しかし、このアンケート処理には膨大な時間と労力、そしてそのノウハウが必要である。学校評価に関する経験豊富で力のある教職員を要している学校と意欲はあるがどのように取り組めばよいか迷いながら取り組んでいる学校と前例踏襲でPDCAが機能しにくい状況にある学校に大きく分かれてしまうのが、現在の学校の実状である。

このことを踏まえ、中学校区ごとの研修の機会を設定し、その場に学校評価アドバイザー（大学研究者又は学識経験者等）を派遣し、直接支援できる体制を整備する。具体的には、学校評価計画に基づき作成するアンケート作成時における質問内容の吟味、質問項目の絞り込み、学年ごと（発達段階ごと）の質問項目づくりなどへのアドバイス、アンケートの集計結果分析と改善の方向の提案に係るアドバイス、学校関係者評価を行う際のポイントを押さえた指導のアドバイスをを行う。

また、アンケート処理を効率的に行う処理技能の向上は、学校評価を中心になって推進する教職員にとって大変重要なことと考えている。アンケートの作成・実施・集計・グラフ化までを迅速かつ効率的に行える機器環境の整備も大変重要である。市教育委員会として、連続スキャンに対応できるOCR機器の購入整備を行うとともに、全小・中学校におけるS Q Sシステムを活用したアンケート処理を実施する。そのための市推進委員会を中心としたアンケート作成・データ処理技能向上にかかる研修会を実施する。

- ・中学校区の研修の機会における学校評価アドバイザーの派遣
- ・全学校におけるS Q Sシステムを活用したアンケート処理の実施
- ・アンケート作成、データ処理（グラフ化）技能向上に係る研修会の実施

- ・学校評価アンケート（保護者・児童生徒・地域）の分析力・解析力を高める研修の実施
- ・市共通評価シートの作成とその活用に関する研究の推進
- ・アンケート結果や学校評価の公表の工夫に関する研究の推進

○補助的な研究課題

学校関係者評価委員の適切な人材選出は、学校評価の質を高め、信頼される学校づくりには欠かせないものである。今年度の市推進委員会において、学校のニーズに応じた学校関係者評価委員の選出が可能となる「人材バンク」を市推進委員会・行政・関係機関等が中心となって作成する。学校・市教委・行政・関係機関・他団体と連携した学校評価支援体制づくりを行う。

また、学校関係者評価委員の評価力向上を目指す研修会を開催し、正しく、公正に学校の教育活動を評価する力を高めていく。学校関係者評価委員が行う評価及び支援が、それぞれの学校を元気にし、地域と共に歩む学校を創る原動力となるよう、年間の学校評価計画に適切に位置づけて取り組む。

- ・人材バンクの作成
- ・評価力向上研修の実施
- ・先進校視察による研修の実施
- ・推進委員会等を活用した文科省研修の伝達講習の実施

②【実践校の取組内容及び取組方法】

○主たる研究課題

質の高い実効性の高いアンケートの作成、アンケート結果の簡便な集計・グラフ化及び結果分析は、学校評価の信頼性を高める上で大変重要である。昨年度の抽出実践校の取組をいかし、今年度はすべての学校で情報機器を活用したアンケート作成、データ処理（グラフ化）技能の向上を図る。

学校評価に係る業務の効率化を図り、学校評価アンケート（保護者・児童生徒・地域）の分析力・解析力（クロス分析等の活用力向上）を高めていく。

- ・全学校におけるS Q Sシステムを活用したアンケート処理の実施
- ・アンケート作成、データ処理等、技能（グラフ化）の向上
- ・分析力・解析力を高める技術研修の実施
- ・中学校区ごとの学校評価研修の実施
- ・派遣された学校評価アドバイザーを活用した学校評価計画の検討と改善
- ・市共通評価シートを活用した学校評価の推進
- ・わかりやすく、説得力のある学校評価だよりづくりとHPを活用した情報発信

○補助的な研究課題

すべての学校に学校関係者評価委員会を設置し、各学校の自己評価を基にしたこれまでの学校評価の取組の成果と課題を明確にするとともに、より質の高い学校評価の実施に向けての研究と研究を行う。学校関係者評価委員会の機能を有効にする保護者・地域との協働体制づくりを検証する。

- ・適切な学校関係者評価委員の選出と学校関係者評価委員会の設置
- ・年間の学校評価計画に基づいた学校関係者評価委員会の開催
- ・中学校区を基本とした各学校の取組の共有化

(4) 実施日程

実施 時期	計 画 事 項			備 考
	受託者 (見附市)	市推進委員会	各実践校	
4月				
5月	OCR機器の準備 OCR機器を活用したアンケートの効用の研究	第1回推進委員会 (人材バンクの作成)		
6月		第2回推進委員会 第3回推進委員会 OCR機器を活用したアンケート作成研修 (アンケート項目の検討・作成、データ処理フォーマットの作成) (市共通評価シートの作成)	学校関係者評価委員の選出と委員会の開催① 中学校区学校評価研修①	
7月			アンケートによる自己評価の実施	
8月	学校関係者評価委員の研修会①	第4回推進委員会 (自己評価の集計と分析結果の共有化) (学校関係者評価委員の活動内容の検討)	中学校区学校評価研修②	
9月			学校関係者評価委員による教育活動の観察、施設観察、対話の実施	
10月	先進校(地域)視察		学校関係者評価委員による教育活動の観察、施設観察、対話の実施	
11月		第5回推進委員会 (学校関係者評価委員会の運営方法の検討)(先進校視察、文科省研修の伝達)	学校関係者評価委員会の開催②	
12月	学校関係者評価委員の研修会② 文科省主催研修会の参加	第6回推進委員会 (シンポジウムの運営、学校評価報告書案の検討)	アンケートによる自己評価の実施	
1月	シンポジウムの開催	第7回推進委員会 (シンポジウムの運営、学校評価報告書案の検討)	学校関係者評価委員会の開催③ 中学校区学校評価研修③	
2月	事業成果まとめ 学校評価結果、改善方策の公表(HPを含め)	第8回推進委員会 第9回推進委員会 (シンポジウムのまとめ、学校評価報告書の完成)	各校ごとの学校評価だよりの作成 学校評価だよりの全戸配布 学校評価結果、改善方策の公表(HPを含め)	
3月			次年度学校評価計画の作成 教育委員会への学校評価報告書の作成・提出	

2. 実施体制図

